

主な事業の予算額



中央公民館改修工事
8,360万円



学校給食センター蒸気発生器入替工事
6,270万円



竹田川周遊エリア整備事業
3,300万円

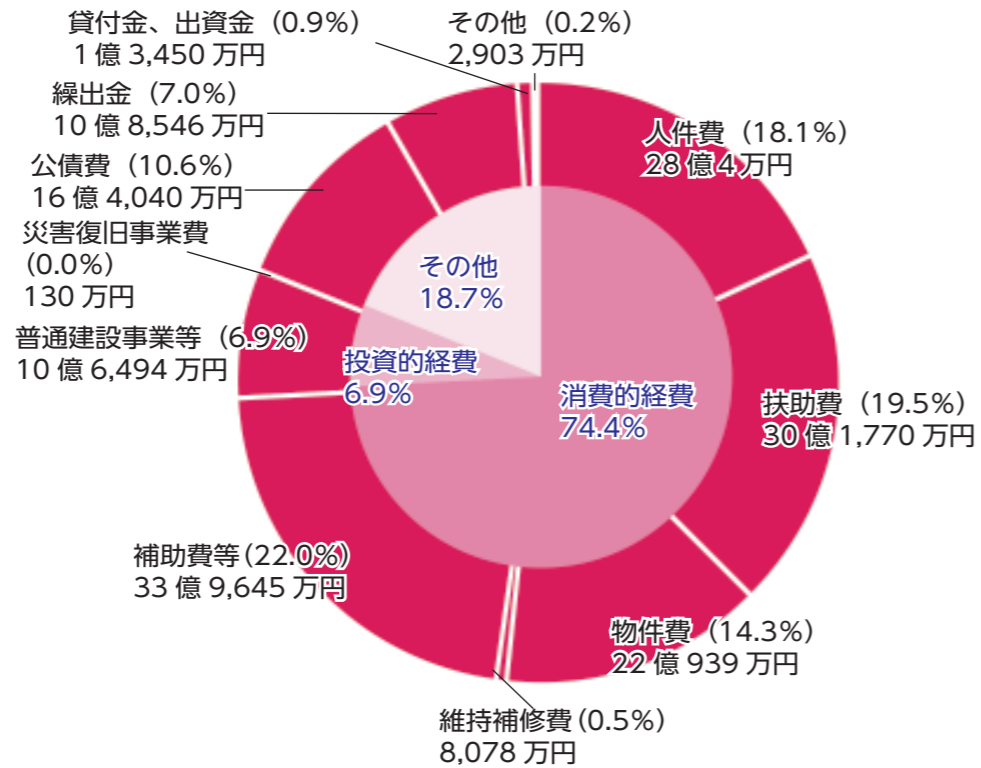


子どもの遊び場整備事業
1,000万円

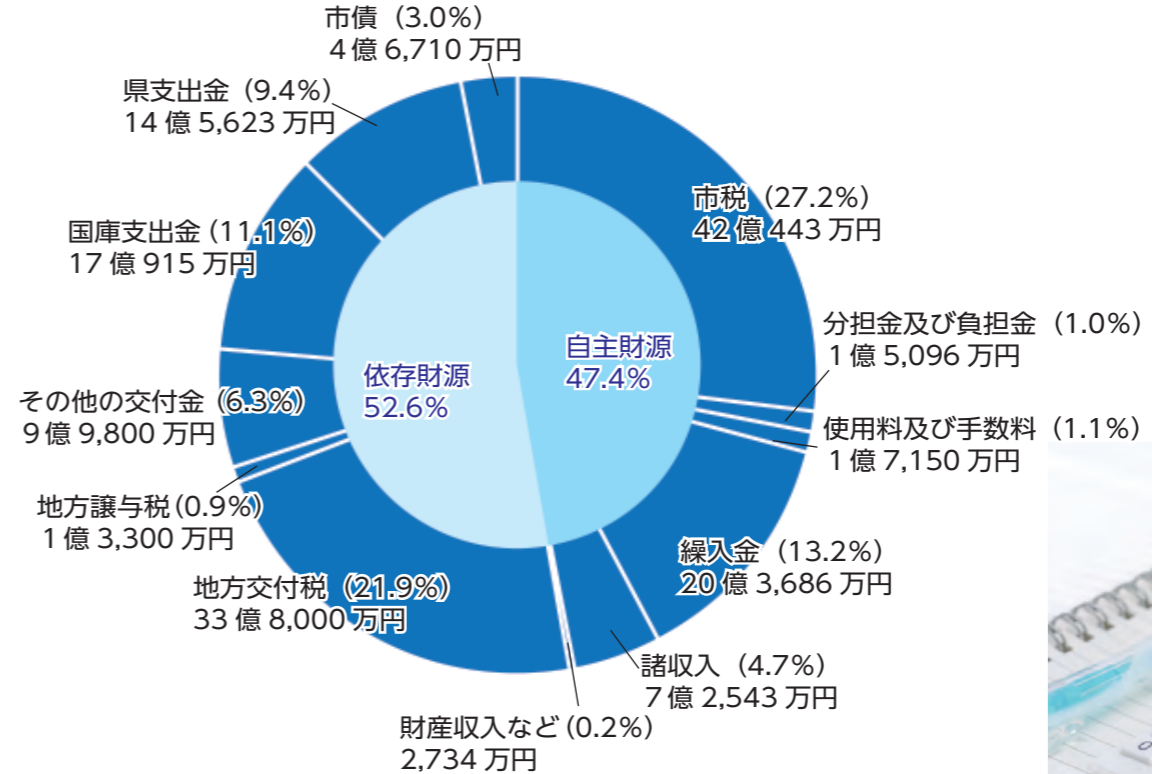


ゼロカーボンシティの推進
392万円

一般会計歳出（性質別）



一般会計歳入



家計簿でチェック！

令和6年度の当初予算 154億 6,000万円を
3,000分の1に置き換えて家計簿にしました。



1年間の収入合計 約515万円	
基本給与 (市税)	140万 1,475円
諸手当 (分担金及び負担金)	5万 320円
副業収入 (使用料及び手数料)	5万 7,168円
預金の取り崩し (繰入金)	67万 8,953円
臨時収入など (寄付金、財産収入など)	25万 922円
親からの援助 (交付税、国庫補助金など)	255万 8,795円
銀行からの借入れ (市債)	15万 5,700円

貯金残高(財政調整基金)	88万 3,334円
借金残高(市債残高)	533万 1,352円

収入をみると、昨年より基本給与は減っており、収入の半分近くを親からの仕送りに頼り、銀行からの借入れも毎年行っています。今後は、借入れの依存を少なくし、基本給与や諸手当、副業収入の増に努めていくことが必要です。

1年間の支出合計 約515万円	
食費 (人件費)	93万 3,347円
医療費 (扶助費)	100万 5,900円
光熱水費、消耗品費など (物件費)	73万 6,464円
子どもへの仕送りなど (補助費等)	113万 2,151円
家や車などの修繕費 (維持補修費)	2万 6,928円
家などの増改築 (普通建設事業費)	35万 4,978円
借金返済 (公債費)	54万 6,801円
貯金 (積立金)	6,344円
その他 (予備費、貸付金、線出金など)	41万 420円

支出では、食費や医療費、借金返済など節約が難しい経費が半分近くを占めています。

今後数年間はこれまで借入れた借金の返済額が増加していくため、収支のバランスを取りながら家計をやりくりしていく必要があります。

一般会計当初予算規模 154億 6,000万円

「暮らしやすく、幸せを実感できるまち」を目指して

令和6年度一般会計当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ154億6000万円、前年度と比較して9億6000万円、6.6%の増となりました。

この要因として、中央公民館改修事業や給食センター設備改修事業などの増額が挙げられます。

市の貯金
— 財政調整基金 —
市の貯金である財政調整基金は、令和5年度末で前年と比較して1億2600万円増の38億8000万円となる見込みです。令和6年度当初予算では、財源不足を補填するため、12億3000万円の取り崩しを計上しています。

市の借金
— 市債残高 —
市の借金である市債の残高は、令和5年度末で約171億700万円となる見込みです。令和6年度当初予算では、4億6710万円の借入れを予定しており、令和6年度末の市債の残高は、前年と比較して約11億1300万円減の約159億9400万円となる見込みです。

各会計の当初予算額 (合計 225億 1,685万円)

一般会計 154億 6,000万円

市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計

特別会計 37億 7,620万円

保険料など特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。

国民健康保険特別会計	28億 9,450万円
後期高齢者医療特別会計	4億 7,270万円
農業者労働災害共済特別会計	500万円
公共用地先行取得事業特別会計	4億 400万円

企業会計 30億 6,060万円

一般の会社と同じように、独自の収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計

水道事業会計	10億 3,796万円
公共下水道事業会計	20億 2,264万円

芦原温泉上水道財産区水道事業会計 2億 2,004万円

芦原地区の特定区域（財産区）の水道事業を運営する会計